



令和4年5月4日
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国海軍艦艇等の動向について

5月3日(火)正午頃、海上自衛隊は、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」1隻、ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦3隻、ルーヤンⅡ級ミサイル駆逐艦1隻、ジャンカイⅡ級フリゲート1隻及びフユ級高速戦闘支援艦1隻の計7隻が、沖大東島(沖縄県)の南約160kmの海域において航行していることを確認した。

また、正午頃から午後6時頃にかけて、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」の艦載戦闘機及び艦載ヘリの発着艦を確認した。

なお、これらの艦艇は、5月1日(日)及び2日(月)に東シナ海で確認され、その後、沖縄本島と宮古島との間の海域を南下したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第1護衛隊所属「いずも」(横須賀)により、情報収集・警戒監視を行った。

また、艦載戦闘機の発着艦に対し、戦闘機を緊急発進させる等を行い対応した。

クズネツォフ級空母「遼寧」(16)



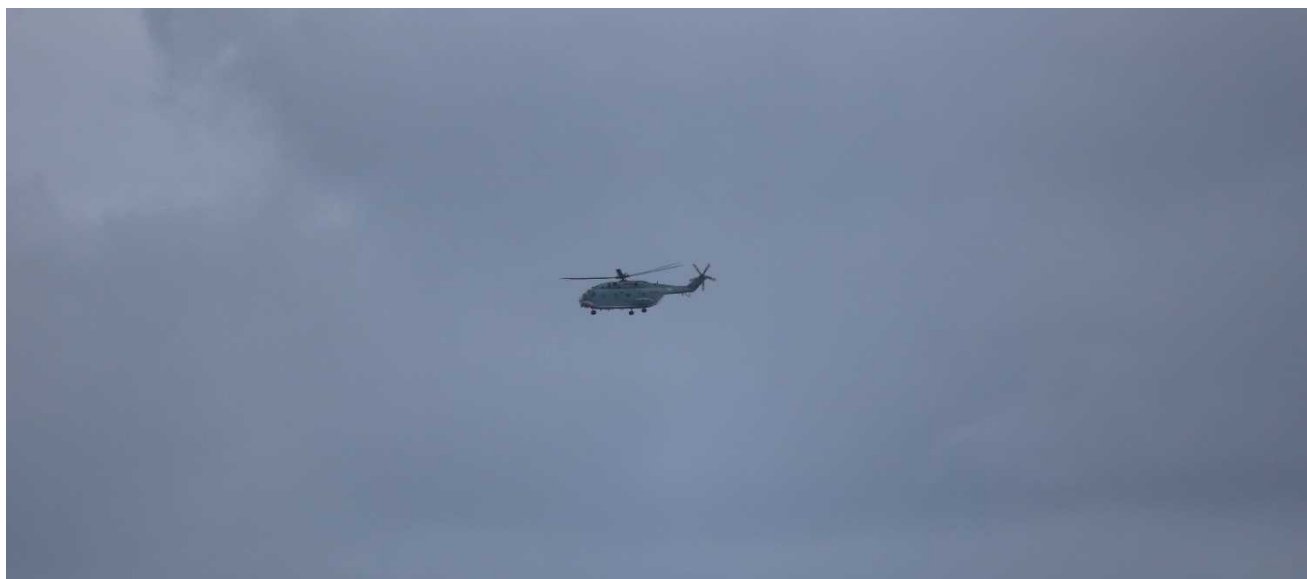
クズネツォフ級空母「遼寧」搭載戦闘機 (J-15)



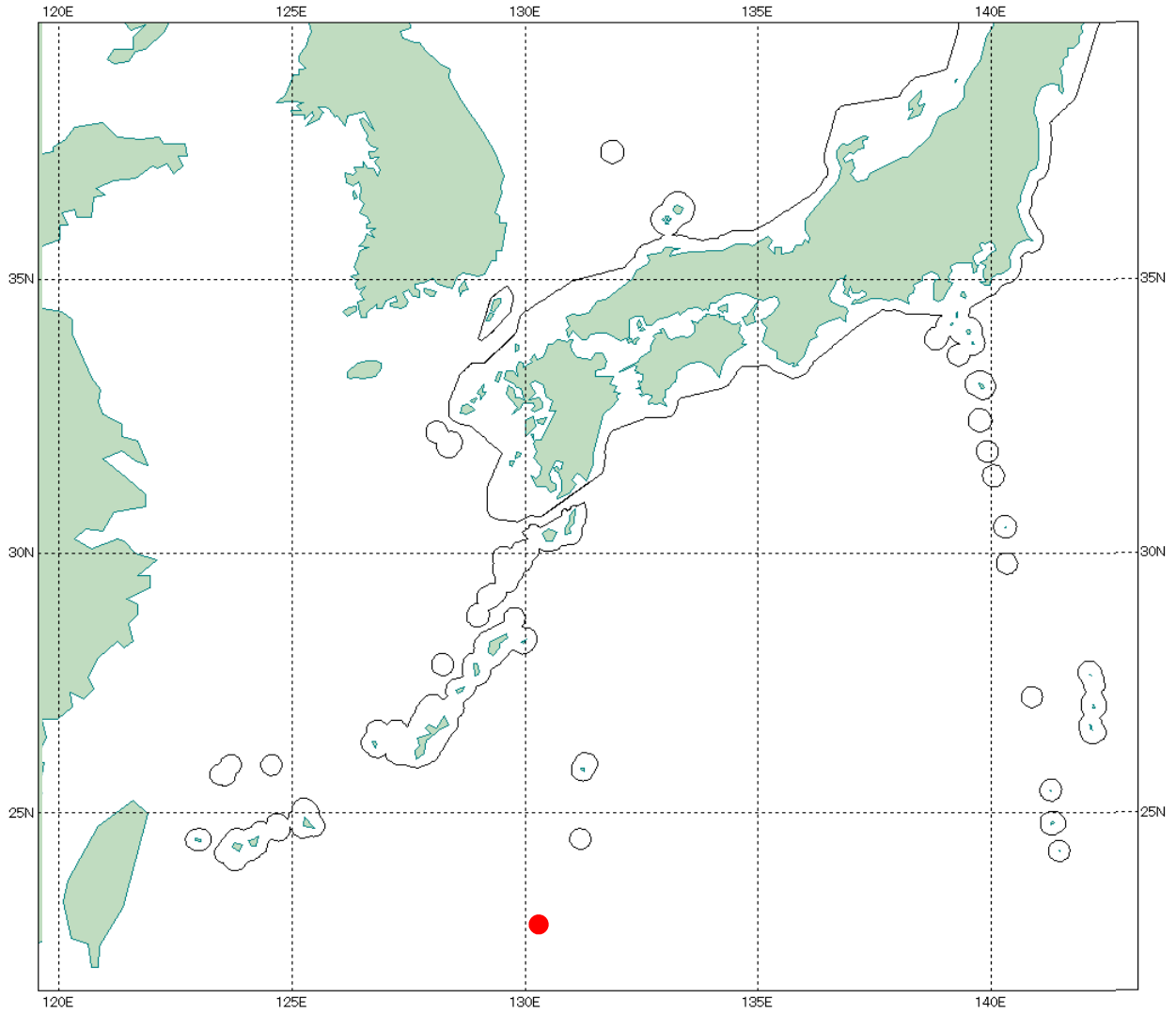
**クズネツォフ級空母「遼寧」搭載戦闘機
(J-15)**



**クズネツォフ級空母「遼寧」搭載ヘリコプター
(Z-18)**



行動概要



● : 中国海軍艦艇